

御来屋舟曳神事

11月3日、御来屋で伝統の住吉舟曳神事が行われました。



力強く舟を曳き、町内をねり歩きます

この神事は、氏神の住吉神社を発着点として、御来屋の町中を4艘の舟を引いてまわります。住吉神社は海の神を祭ることから、海上安全や豊漁を祈願します。

また、顔に特殊な化粧を施して派手な衣装に身を包み、舟の前で棒を持って踊るのが特徴で、舟を曳くときには「チョーサダ！チョーサダ！」という威勢の良い掛け声をみんなで発します。町なかを行進する途中で立ち止まっては踊るので、地元の人も見物に出きます。

舟曳神事実行委員会の角田歳郎会長は「早朝は天候が悪くて祭りができるか心配だったが、無事に晴れて賑やかにできて良かった」と達成感でいっぱい表情で話していました。

祝米寿 おめでと〜ございます

大山町では10月28日、29日の両日、平成21年度に町内在住の方で米寿（満88歳）を迎えられた方、およびこれから迎えられる方、計135人の方々に、森田増範町長から祝状と記念品が贈られました。



米寿のお祝に祝状が手渡されました

祝状の贈呈に際しては、お祝いを受けられる方々のお宅を訪問し、長年にわたり町の発展に貢献されたご功績に敬意を表するとともに、今までのご苦勞をねぎらい、また長寿をお祝いするとともに益々のご健勝をお祈りしました。



喜びの林原輝夫・延重ご夫婦

中山地区では、林原輝夫・延重さん夫妻が、揃って88歳になられたという、大変おめでたい米寿を迎えられました。

皆さん、いつまでもお元気で過ごしてください。

盛り上がった中山わいわいフェス

11月3日、中山農業者トレーニングセンターを会場に、第13回中山わいわいフェスティバルが行われました。

開会当初は、前日からの悪天候の影響で、人出がにぶく盛會が危ぶまれました。しかし徐々に天候が回復するとともに人出も増えて、大変にぎやかなイベントになりました。

屋外では、ポン菓子無料配布、乗馬体験、ミニSなどが子どもたちの人気を集めていました。また、手打ちそばやカレーライス、から揚げ、中山国際交流協会によるテメキュラドッグなど、フードコーナーも充実していて、大勢の方を惹きつけていました。



煙に、汽笛に、はしゃぐ子どもたちを乗せて走るミニS L

一方屋内では、ゴスペルや民族舞踊など各種サークルの方々の発表や大山町出身の歌手、小夏さんのステージなど、こちらも多彩に催しもの続き、見るものを飽きさせることはありませんでした。